

1 実施概要

受験資格

- ①と②の両方に該当する方 ※年齢は問いません
- ①a)b)c)のいずれかに該当している
 - a)これまでにボランティア活動の経験がある
 - b)これまでに地域社会、組織（施設・機関、NPOなど）においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある
 - c)ボランティアコーディネーションに関わる予定がある（具体的な内容を記載していただきます）
- ②3級検定直前研修を修了している
 - 同日会場で実施する、もしくはオンデマンドで実施する直前研修を受講することが検定試験受験の要件となります。ただし、過去に実施された同直前研修をすでに受講された場合には、希望により免除されます。 ※修了確認をおこなうため、受講時期と開催地を申込時にご入力ください。

日時・会場

第38回検定日 直前研修： 2024年7月6日（土） 10:00～16:30
 検定試験： 2024年7月6日（土） 17:00～18:00
 会場 栃木：小山市市民活動センター「おやま〜る」（小山市城山町3-7-5）※
 東京：飯田橋セントラルプラザ（新宿区神楽河岸1-1）
 大阪：大阪府社会福祉会館（大阪市中央区谷町7-4-15）

第39回検定日 直前研修： 検定日までに動画を視聴 ※
 検定試験： 2024年8月27日（火） 19:30～20:30
 会場 東京：飯田橋セントラルプラザ（新宿区神楽河岸1-1）
 岐阜：岐阜駅周辺（決まり次第、WEBサイトにてお知らせ）
 滋賀：キラリ工草津（草津市大路二丁目1-35）
 大阪：CANVAS谷町（大阪市中央区谷町二丁目2-20）

第40回検定日 直前研修： 2024年12月1日（日） 10:00～16:30
 検定試験： 2024年12月1日（日） 17:00～18:00
 会場 東京：飯田橋セントラルプラザ（新宿区神楽河岸1-1）
 大阪：大阪府社会福祉会館（大阪市中央区谷町7-4-15）
 ※第38回の栃木および第39回検定は会場での研修受講はありません。
 オンデマンドの事前動画視聴での受講のみです。
 試験2週間前から講義動画の視聴が可能になり、会場では試験のみを受けます。

直前研修・テキスト

- ①研修カリキュラム（5時間）
 - 今、なぜ、ボランティアコーディネーションなのか？（公式テキスト序章）
 - ボランティアの理解（公式テキスト第1章）
 - ボランティアコーディネーションの理解（公式テキスト第2章）
- ②公式テキスト
 「ボランティアコーディネーションから市民の社会参加を支えるチカラへ」（第3版）
 日本ボランティアコーディネーター協会編集 早瀬昇・筒井のり子著
 中央法規出版発行 2,860円（税抜2,600円）

出題程度・合格基準

出題形式	問題数	時間	出題程度	合格基準
択一式試験 (4択)	50問	60分	・公式テキストから 90%以上を出題	70点以上 (100点満点)

3級問題の例

- 問「ボランティア活動」の説明として、適切な正誤の組み合わせを1つ選びなさい。
 A 自発的に行われるものは、すべて「ボランティア活動」と言ってよい
 B 自発的でなくても、人の役に立つことをする場合は、「ボランティア活動」の範疇にはいる
 C 自分の家族が抱える問題解決から始めた活動であっても、その活動を広く一般に開くことで「ボランティア活動」になる
 D 無償で行われる活動は、すべて「ボランティア活動」と言ってよい
 ① ○××× ② ××○× ③ ×○×○ ④ ××○○ 答え ②
- 問 ボランティアコーディネーションの記述として、間違っているものを1つ選びなさい。
 A ボランティアコーディネーションとは、ニーズ(需要)にボランティア(供給)を適合させるテクニクのことである
 B ボランティアコーディネーションは市民社会づくりを目的として行われる働きである
 C ボランティアコーディネーションを行うには、ボランティアについての正しい理解や知識、情報が必要である
 D ボランティアコーディネーションは市民社会づくりの様々なアプローチの中で、とくにボランティアに焦点をあてて取り組まれる
 ① A ② B ③ C ④ D 答え ①
- ※第1回検定の試験問題(2009年実施)を「ボランティアコーディネーション力検定」のWEBサイトに公開しています。出題傾向の参考にしてください。

受験料

直前研修受講料	5,940円（税抜5,400円）	標準価格 12,980円
テキスト代	2,860円（税抜2,600円）	
検定試験料	4,180円（税抜3,800円）	

JVCA正会員は 11,682円（税抜10,620円）
 ※直前研修免除の場合の料金は、検定試験料のみになります。
 ※すでにテキストをお持ちの場合の料金は、直前研修受講料と検定試験料の合算になります。ただし、直前研修では第3版を使用するため初版・第2版とは調査結果の数値等多少の違いがあることはご承知おきください。

2 お申込み方法と受験の流れ

定員

第38回：栃木 30人、東京 60人、大阪 50人
 第39回：東京 30人、岐阜 20人、滋賀 30人、大阪 30人
 第40回：東京 60人、大阪 50人

※共催（3級検定直前研修）：大阪ボランティア協会
 後援（3級検定）：東京ボランティア・市民活動センター
 協力（3級検定）：小山市市民活動センター

申込み

①日本ボランティアコーディネーター協会のWEBサイトからアクセス



②申込フォームに必要事項を入力し、送信する。

第40回検定については、開催会場が増えることがあります。また、共催検定（他の団体と一緒に実施）も行っています。開催が決まり次第順次ホームページにてご案内しますので、そちらもご確認ください。

https://jvca2001.org/vco_kentei/

受験の流れ

申込み

〈申込締切日〉

3級 第38回： 6月10日（月）
 第39回： 7月29日（月）
 第40回： 11月4日（月）

※先着順です。
 定員に達した場合はその時点で締切となります。

入金

3級 第38回： 6月17日（月）
 第39回： 8月5日（月）
 第40回： 11月11日（月）

申込書を受取後、1週間以内に入金手続きについてのご案内をEメールでお送りします。

受験票
テキスト

入金確認をもって正式な申込みとし、おおむね2週間以内に受験票とテキスト、当日のご案内を発送します。

直前研修
受講

3級 第38回： 7月6日（土）
 第40回： 12月1日（日）

※オンデマンド受講は、試験2週間前を目途に視聴案内
 ※再受験の方や以前に直前研修を受講済みの方は、受講が免除されます。

検定試験

3級 第38回： 7月6日（土）
 第39回： 8月27日（火）
 第40回： 12月1日（日）

合否判定
結果通知

検定試験委員会において合否を判定し、1ヵ月以内に受験者に文書（郵便）で通知します。合格者には各級の『ボランティアコーディネーション力検定合格証』を発行します。

3 受験者データと合格者の声

ボランティアコーディネーション力検定合格者数

	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	合計
1級																110
2級																787
3級	339	338	422	350	401	601	525	537	420	532	545	375	313	315	377	6,390

2023年度の3級検定受験データ

	第35回			第36回			第37回			合計
開催地	栃木	東京	大阪	東京	岐阜	大阪	愛媛	北九州		
受験者数	17人	73人	37人	54人	23人	25人	3人	26人		258人
合格者数	12人	64人	32人	51人	23人	23人	3人	25人		233人
合格率	70.6%	87.7%	86.5%	94.4%	100%	92.0%	100%	96.2%		90.3%

※主催検定のみ数字であり、各地の共催検定の結果は含まれておりません。

合格者の声

学生の頃はいくつかのボランティアを経験しましたが、社会人になってからは少し遠い存在となっていました。そんな私が、ボランティアコーディネーションを学び、実践できるか心配でしたが、この検定にチャレンジすることで不安は一掃されました。体系的に学ぶことで、新しいアプローチの手段や視点を獲得することができたからです。これまでの自分なりのボランティアの経験が、より豊かで有益なものになりました。



日本協同組合連携機構
(コープ共済連より出向)
青木 寛さん

また、ボランティアコーディネーションは、ボランティアという市民の主体的な参加に重きをおいているので、自分や自分の所属する組織が社会とどのようなつながりを持っているのか見つめ直すことにもつながりました。課題が複雑化する今、一つの組織や個人でできることは限られています。ボランティアコーディネーション力は、あらゆる連携・協働に活用できると思います。

共催検定のご案内

あなたの街で「ボランティアコーディネーション力検定3級」を日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）と共催することができます。直前研修がセットになったプログラムです。ボランティアやボランティアコーディネーションの基礎研修としても活用いただけます。

基本料金

- 1日の直前研修&試験というカリキュラムで実施し、30名(最少催行人数)の場合を想定しています。
- (1)検定プログラムの使用料ならびに講師料 200,000円
- (2)検定公式テキスト代 85,800円～
- (3)検定料 125,400円～
 (1)(2)(3) 合計 411,200円～(消費税込)
- (4)講師の移動にかかる経費(会場までの往復交通費、宿泊費等)の実費

その他、会場の確保、広報、申込受付、研修・試験に際しての係員の配置、直前研修レジュメの印刷などは開催地の負担となります。また、受験者が負担する費用(受講料)は開催団体で設定できます。

<ボランティアコーディネーション力検定試験委員会>

- 委員長 妻鹿ふみ子（東海大学）
- 副委員長 栗木 梨衣（中部圏地域創造ファンド）
- 委員 青山 織衣（岸和田シティプロモーション推進協議会）
 足立 陽子（淑徳大学 地域共生センター）
 岩井 俊宗（とちぎユースサポーターズネットワーク）

- 上田 英司（日本NPOセンター）
- 小原 宗一（北区社会福祉協議会）
- 鹿住 貴之（JUON(樹恩) NETWORK）
- 唐木理恵子（袖ワークス）
- 公文真理亜（北九州市社会福祉協議会）

- 後藤麻理子（日本ボランティアコーディネーター協会）
- 佐藤 匠（至学館大学）
- 垂井加寿恵（神戸学院大学 ボランティア活動支援室）
- 土崎 雄祐（とちぎ市民協働研究会）
- 疋田 恵子（杉並区社会福祉協議会）
- 三田 響子（座間市社会福祉協議会）

4 注意事項

申込み上の注意点

- ① お身体の不自由な方で、受験方法に配慮が必要な場合は、検定事務局まで事前にご連絡ください（お早目をお願いします）。
- ② 以下の場合は受験することができません。
 - ・申込期日を過ぎて申込みが検定事務局に到着した場合
 - ・申込みが受付期間内であっても、書類または手続きに不備があった場合
 - ・申込みに際し、所定の方法で申込みをされていない場合

当日の注意点

直前研修、検定試験ともに原則として遅刻は認められません。公共交通機関の遅延など、やむを得ない事情があっても、直前研修は開始後30分、検定試験は開始後20分を過ぎた場合には入場できません。

キャンセル

- ① ご事情により受験料を期限内にお支払いいただけない場合は、事前に事務局までご連絡ください。
- ② 受験料振込後の申込みの取り消し、受験料・検定料の払い戻し、次回以降の検定試験への繰り越しは、主催者側に非がある場合を除いては、一切行いませんのでご了承ください。
- ③ 感染症等に罹患されたことによる取り消しについても②と同様の対応となります。
- ④ 荒天や自然災害、感染症の拡大等の事情によりやむなく検定及び直前研修を中止する場合にはテキスト代および事務手数料を差し引いた額を受験者が指定する口座に返金します。
- ⑤ お申込み後にキャンセルされる場合には（入金前 であっても）必ずご連絡ください。

研修動画（オンデマンド視聴の場合）

事前研修動画（講義）については、試験日の2週間前から視聴が可能になります。当該受験者には一斉にEメールで視聴用URLを送ります。

受験上の注意

- ① 次に該当する行為をした受験者は、その場で退場・失格とし、答案の採点はいたしません。また、不正行為等が合格認定後に判明した場合はその合格を取り消しとし、以後の受験をお断りする場合があります。
 - ・本人以外が受験する。
 - ・他の受験者に迷惑をかける。
 - ・試験監督の指示に従わない。
 - ・携帯電話やスマホなどを使用する（時計として使用することもできません）。
 - ・録音機器、カメラ、辞書、テキストなどを使用する。
 - ・その他不正行為。
- ② 受験後の試験問題の漏洩も不正行為とみなしますのでご注意ください。
- ③ 受験者の解答は公表いたしません。また、問題に関する質問には原則としてお答えできません。

合否結果発表

試験後1ヵ月を経過しても検定結果が届かない場合は、検定事務局へお問い合わせください。合否・採点・試験問題の内容に関するお問い合わせには一切お答えできません。

個人情報の取り扱いについて

検定事務局は、当該検定試験の申込みによって取得した個人情報（住所、氏名、生まれ年、性別等、個人を識別、特定できるもの）を以下の目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。

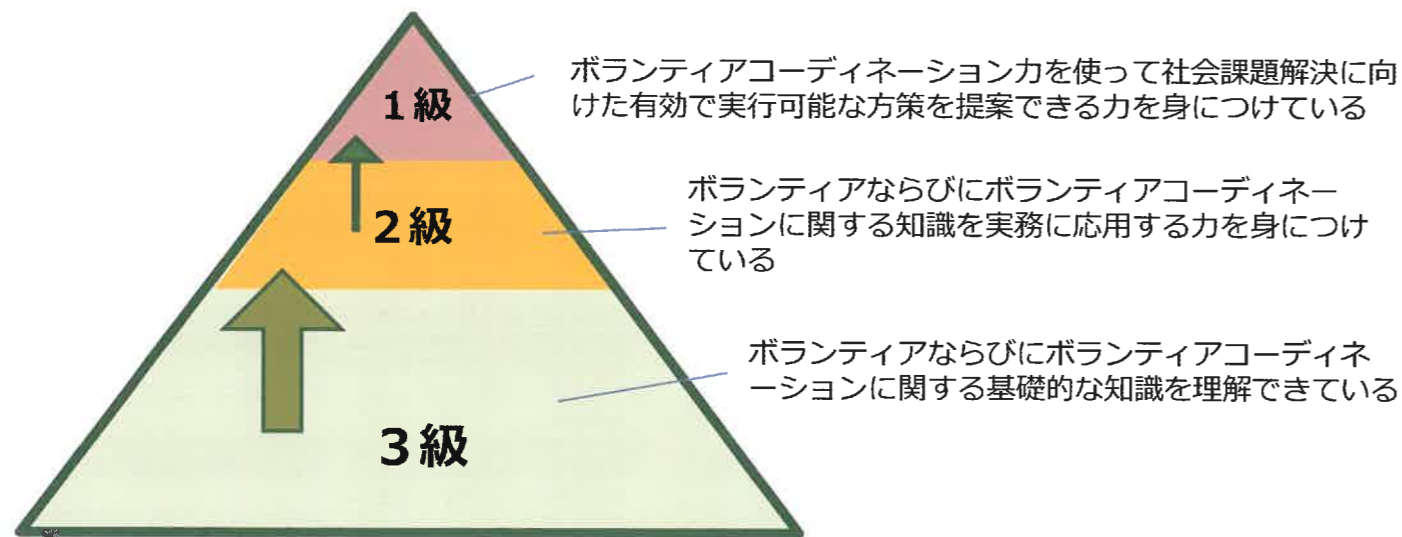
- ・受験票や試験結果の発送等、検定試験や研修に関わる連絡
- ・受験者の受験履歴の管理
- ・合格者名簿の管理

 また、これ以外の目的に利用する場合は、ご本人（受験者）の同意を得た上で行います。

本検定試験をお申込みされた方は、この実施要項に記載されている全ての事項について、同意しているものとみなします。

ボランティアコーディネーション力検定の全体像

ボランティアコーディネーション力検定は、ボランティア活動やコーディネーションの経験がある皆さんに幅広く受けてほしい「3級」から始まり、実務を進める上でも役立つ「2級」、さらに包括的なボランティアコーディネーションの実践を目指す「1級」と、3つのレベルを設定しています。



3級に合格したら、次は2級にチャレンジ！！

2級

知識的な理解が中心の3級に合格したら、今度はボランティアコーディネーションの実務力を試す2級の受験に挑戦しませんか。仕事でコーディネーションをする役割にある方、団体のリーダー的な立場にある方などにもお薦めです。

詳しくはWEBサイトから https://jvca2001.org/vco_kentei/entry/

第28回検定日

直前研修 (講義) 検定日までに動画を視聴
(演習) 2024年10月27日(日) 9:15~15:05
検定試験 2024年10月27日(日) 15:30~17:00
会場 大阪府社会福祉会館(大阪市中央区谷町7-4-15)

第29回検定日

直前研修 (講義) 検定日までに動画を視聴
(演習) 2024年11月17日(日) 9:15~15:05
検定試験 2024年11月17日(日) 15:30~17:00
会場 大学生協杉並会館(東京都杉並区和田3-30-22)

講義動画は、試験2週間前を目途に視聴案内。
直前研修(演習)と検定試験は同一会場で実施。

◆受験資格

下記の3つのすべてに該当する方 ※年齢は問いません

①3級検定に合格している
②これまでに地域社会、組織(施設・機関・NPOなど)においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある

ボランティアの経験だけでなく、人や組織間の調整にあたり、つなぎ役をしたりなどの経験が必要です。業務には限らず、ボランティア活動における取り組みも含まれます。肩書きにも制約はありません。詳しくは3級検定で学ぶボランティアコーディネーションの事例などを参考にしてください。

③2級検定直前研修を修了している

検定日までに直前研修の講義動画を視聴し、検定同日に実施する直前研修の演習を受講することが検定試験受験の要件となります。ただし、過去に実施された直前研修をすでに受講された場合には、希望により免除されます。

<主催> 認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

2001年に設立。ボランティアコーディネーターの専門性を確立し、社会的な認知を得るためのさまざまな取り組みをしてきました。毎年開催している多様なコーディネーション実践に携わる人々を対象とする全国集会や、基礎研修・実務研修の実施、全国への講師派遣、出版などを通して、多様な分野のボランティアコーディネーションに携わるスタッフたちに学びとネットワークづくりの場を提供しています。

● お問合せ・お申込先

ボランティアコーディネーション力検定事務局
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-13 未よしビル別館30D
TEL: 03-5225-1545 FAX: 03-5225-1563
<https://www.jvca2001.org/> Eメール: jvca@jvca2001.org



2024年版

実施要項

3級

市民の社会参加を支える

チカラ

ボランティア
コーディネーション
3級・2級検定



検定日	回	開催地	申込締切
7月6日(土)	第38回	栃木	6月10日(月)
		☆東京	
		☆大阪	
8月27日(火) ※夜間開催	第39回	東京	7月29日(月)
		岐阜	
		滋賀	
		大阪	
12月1日(日)	第40回	☆東京	11月4日(月)
		☆大阪	

開催地の☆印は会場での研修受講か動画視聴かを選択できます。無印は動画での事前視聴のみになります

ボランティアコーディネーション力検定とは？

人々の価値観が多様化し、社会的な機能もより専門分化する現代。

私たちの暮らしや仕事にとって“コーディネーション”の機能が不可欠になってきています。

市民の自発的な社会参加と継続的な活動を支える“ボランティアコーディネーション”のはたらきもその一つです。単にボランティアしたい人と受け入れたいニーズをつなぐという狭い意味だけの機能ではなく、一人ひとりが市民社会づくりに参加し、さまざまな社会課題に対して、その力と可能性を発揮できるように支える役割は、いま私たちが暮らす社会のあらゆる場面で求められています。

私たち日本ボランティアコーディネーター協会では、この“市民の社会参加を支えるチカラ”と“異なる人・組織の協働を支えるチカラ”を「ボランティアコーディネーション力(りょく)」と名づけ、次のように定義しました。

ボランティア活動を理解し意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるように調整することで、一人ひとりが市民社会づくりに参加することを可能にする力



主催：認定特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会